

## 住宅リフォーム助成事業の拡充

重プ

予算額 1億円

副題：新型コロナウイルス感染防止のための工事を追加します

### ポイント

未だ収束の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症の拡大予防の視点から住宅リフォーム助成事業に「新たな日常」への対応工事を加え、コロナ禍における区民生活の維持向上・区内経済の活性化を図ります。

### 事業概要

#### 1 「新たな日常」への転換を支援

住まいの長寿命化、バリアフリー化や省エネルギーなどを目的とした、住宅リフォーム助成事業に、玄関周りの水場の確保や居室内における換気機能の向上など衛生管理への対応のほか、テレワークなどコロナ禍における「新たな日常」に対応する工事を助成対象工事に追加します。

#### 2 助成内容

「新たな日常」に対応する工事

- ・対象工事 5万円以上の工事
- ・助成額など 上限額 10万円（助成対象額の20%）

※リフォーム内容ごとに助成額や助成率は異なります。



問合せ先

担当部課 まちづくり推進部 建築調整課

課長 吉澤 電話 5744-1342（住宅担当）

## 多言語通訳タブレット配備による通訳サービス向上 重プ

予算額 764万6千円

副題：情報格差解消により、外国人区民への窓口サービス向上を目指します

### ポイント

新型コロナウイルス感染症に取り組む部署をはじめ、外国人区民が多く利用する窓口が多言語対応の通訳タブレットを配備します。各種支援や相談への多言語対応力を強化することで外国人区民への情報格差解消を図り、「国際都市おおた」として窓口サービス向上に取り組めます。

### 事業概要

「国際都市おおた」を掲げる大田区には、24,122人、127カ国・地域出身の外国人区民（令和3年1月1日現在）が暮らしています。

そこで区は、外国人区民への情報格差解消を目的に、13言語に対応するクラウド通訳サービスが利用可能なタブレット18台を配備します。

来庁した外国人区民と区職員の会話をリアルタイムで通訳することにより、スムーズで正確な意思疎通を図り、満足度の高い行政サービスの提供を行います。

配備先：健康政策部（保健所を含む）、特別出張所、福祉部、こども家庭部、区民部など

#### 【対応言語】13言語（予定）

英語、中国語、ネパール語、ベトナム語、タガログ語、ヒンディー語、ハンガル、タイ語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語、インドネシア語



問合せ先

担当部課 観光・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課  
課長 吉田 電話 5744-1719

## (仮称) 大田区国際交流施設の整備

予算額 9,919万2千円

副題：新たな国際交流・多文化共生の一大拠点となる施設を

世界の玄関口に整備します

### ポイント

大田区に暮らす127カ国・地域出身の24,122人（令和3年1月1日現在）の外国人区民は、言語の問題を始め多様な課題を抱えています。

そこで区は、多言語相談窓口である「多文化共生推進センター」などを集約した国際交流施設を羽田空港に直結する京急蒲田駅至近の地に新たに整備し、国際交流と多文化共生施策を一体的に推進する拠点とすることで、「国際都市おおた」の実現を図ります。

### 事業概要

#### 1 施設概要

所在地 大田区蒲田四丁目16番（13階建の2階部分）

フロア面積 約870㎡（建物全体床面積 約9,522㎡）

#### 2 主な機能

- (1) 多言語相談窓口
- (2) 大会議室（日本語教室、国際交流講座などの実施）
- (3) 情報・交流コーナー  
（多言語の情報発信、国際交流に関する展示など）

#### 3 今後のスケジュール

令和3年度 内装工事

令和4年度 運営開始



完成イメージ

#### 問合せ先

担当部課 観光・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課

課長 吉田 電話 5744-1719

# 人生 100 年時代における老いじたくの推進



予算額 203 万 4 千円

副題：今から始めよう！ 自分らしい老いじたく

## ポイント

人生 100 年時代といわれる今日において、区民が生涯を健やかに安心して暮らせるよう、元気なうちから老いじたくを進めるための相談体制の拡充や、セミナーなどを開催します。

## 事業概要

### 1 相談体制の拡充

#### (1) 相談窓口の常設

老いじたくに関して、電話による相談窓口を大田区社会福祉協議会に設置します。また、司法書士などによる相談会を月 2 回実施します。

#### (2) 合同相談会の新設

老いじたくに関する多岐にわたる悩みを弁護士、司法書士、税理士、宅地建物取引士など複数の専門職にワンストップで相談できる合同相談会を年 2 回開催します。

### 2 区民への周知・啓発

#### (1) セミナーなどの実施

老いじたくの必要な知識やそのポイントなどを広く区民に伝えるためのセミナーを開催します。

#### (2) パンフレット（詳細版）の作成・啓発

令和 2 年度に作成した老いじたくパンフレットの詳細版となる第 2 弾パンフレットを作成し、さらなる啓発を図ります。



令和 2 年度作成パンフレット

問合せ先

担当部課 福祉部 福祉管理課

副参事 伊藤 電話 5744-1737 (地域福祉推進担当)

## (仮称) 成年後見制度利用促進のための協議会設置

新規

重プ

予算額 48万7千円

副題：地域ぐるみで権利擁護支援に取り組む仕組みづくりを進めます

### ポイント

大田区成年後見制度利用促進基本計画に基づき、区は成年後見制度への理解と利用の促進、関係機関との連携を推進するため、令和2年4月から大田区社会福祉協議会と連携して、成年後見制度利用促進中核機関を設置・運営しています。

令和3年度はさらに、地域全体で成年後見制度をはじめとした権利擁護支援に取り組むための体制強化を図ります。

### 事業概要

弁護士、司法書士、社会福祉士などの各専門職団体、自治会・町会、民生委員児童委員など地域における権利擁護に関係する団体とともに制度などの周知策の検討や、権利擁護における知見・課題の集約、利用促進のための仕組みづくりを行う協議会を設置します。

協議会の運営にあたっては、成年後見制度利用促進中核機関である区と大田区社会福祉協議会が連携して取り組みます。



問合せ先

担当部課 福祉部 福祉管理課

課長 長谷川 電話 5744-1649 (福祉支援調整担当)

## 大田区認知症検診推進事業

新規

重プ

予算額 2,413万4千円

副題： 認知症の早期発見から個別支援へつなげます

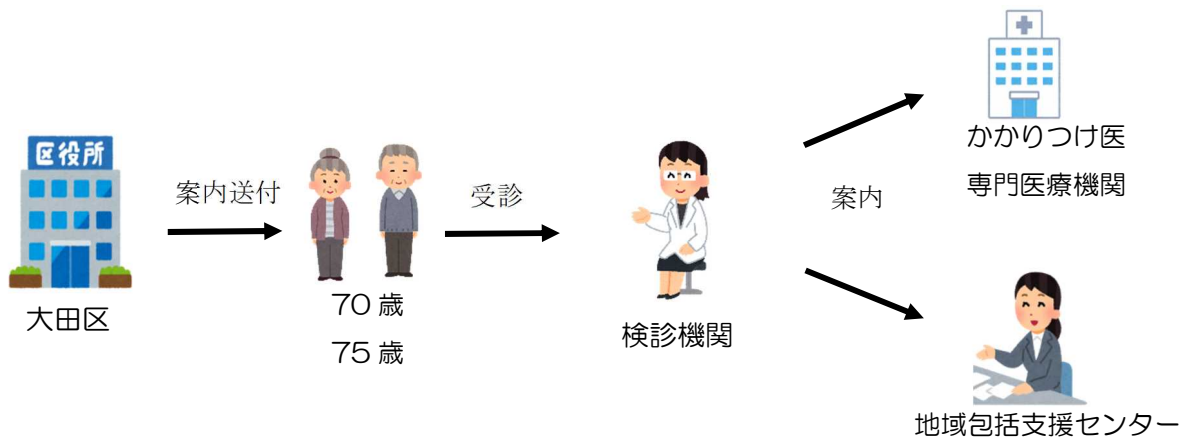
### ポイント

令和3年度から、年度内に70歳と75歳に到達する方に、認知症に関する知識や検診の概要を記載したパンフレットを個別に送付し、本人やご家族などの気づきを促し、専門医療機関による早期診断や、個々人の状況に適した支援に早期につながる体制づくりを進めます。

### 事業概要

「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」を始め、認知症に関するパンフレットなどを送付し、気になる症状がある方へ受診を勧奨します。

受診の結果、認知症の疑いがある方は専門医療機関などにつなげます。また、検診受診者全員に、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターを案内することで、今後の生活支援につながる取り組みを強化します。



問合せ先

担当部課	福祉部	高齢福祉課
課長	酒井	電話 5744-1255

## 高齢者オンライン交流促進事業

新規

重プ

予算額 174万1千円

副題：オンラインで高齢者の孤立の防止及び交流促進を図ります

### ポイント

新型コロナウイルス感染防止のため、特に重症化しやすい高齢者は外出を自粛し家族や知人との交流が不足することで、フレイルの進行や社会的孤立が懸念されています。

新型コロナウイルス感染症を契機とした「新たな日常」においても、高齢者が安心して社会とのつながりを維持・継続できるよう、シニアステーションや老人いこいの家のオンライン環境を整備し、高齢者の交流促進事業をモデル実施します。

### 事業概要

#### 1 オンライン環境を活用した地域間交流事業

シニアステーションや老人いこいの家をオンラインでつなぎ、他地域の利用者との交流事業（音楽鑑賞、ゲームなど）を実施します。



#### 2 高齢者のデジタル機器活用推進事業

高齢者が家族や知人との交流を継続できるよう、民間通信事業者と連携し、シニアステーションや老人いこいの家を会場に、スマートフォンやタブレット端末の操作教室を実施します。



問合せ先

担当部課 福祉部 高齢福祉課

課長 浅沼 電話 5744-1428（元気高齢者担当）

## 障がい者の活躍推進

新規

予算額 1,102万5千円

副題：障がいのある人を対象とした会計年度任用職員を任用します

### ポイント

令和2年度に策定した「大田区障がい者活躍推進計画」に基づき、障がいのある人に多様な働き方を提供するため、会計年度任用職員を任用します。

障がい者が働きやすい環境を整備するとともに、障がい者と共に働くことにより、職員の共生社会の意識を醸成します。

### 事業概要

#### 1 事業内容

新たに任用する会計年度任用職員4名については、障がいの種別は問わず募集します。本庁舎内に設置するオフィス・サポート・センターにて封入・封緘作業などの庶務事務や、アンケートの入力業務、軽作業などの業務に従事する予定です。

#### 2 支援体制

業務の支援や指導・助言を行う「障がい者支援員」を配置します。

問合せ先

担当部課 総務部 人事課

課長 梅崎 電話 5744-1151



## 医療連携型グループホームへの支援

新規

予算額 878万4千円

副題：医療的ケアが必要な障がい者が

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援します

### ポイント

医療的ケアを必要とする障がい者が充実した生活を送れるよう、医療支援にかかわる人材の充実を支援します。

令和4年1月の施設開設を機に、グループホーム、福祉サービス事業者、医療機関など、さまざまな地域資源の連携を強化します。

### 事業概要

医療的ケアが必要な重度障がい者などを対象としたグループホーム運営を支援します。(基準額：利用者1名あたり24,400円/1日当たり)

### 施設の概要

場 所	鵜の木三丁目 22 番
定 員	14 名
開 設	令和4年1月 (予定)
運営法人	社会福祉法人 睦月会
施設設備	1階 診療所 (予約制) 2・3階 グループホーム (各フロア7名) 1部屋 約 10 m <sup>2</sup> 特殊浴槽設置



### 問合せ先

担当部課	福祉部 障害福祉課
課長	曾根 電話 5744-1679 (障害福祉サービス推進担当)

(仮称) 新大田区生涯学習推進計画策定

新規

重プ

予算額 856万5千円

副題：学びを通じて、人生の豊かさと社会とのつながりをつくります

ポイント

人生100年時代が到来し、技術革新が著しく進む中、生涯を通じて学ぶことの重要性が一層高まっています。生涯学習事業を体系化し、総合的・計画的・効果的に推進することにより、生きがいをもち、自分らしく安心して暮らすことのできる地域を目指します。

事業概要

1 名称

「(仮称) 新大田区生涯学習推進計画」

2 計画期間

令和4年度からの3か年

3 スケジュール

令和3年6～7月

区民アンケート実施

同年7～12月

区民アンケート分析、検討、素案作成

令和4年1月

パブリックコメント・区民説明会実施



問合先

担当部課 地域力推進部 地域力推進課

課長 中村 電話 5744-1225 (区民協働担当)

# 人生 100 年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト

重プ

予算額 1,913 万 9 千円

副題：健康課題の検証と効果的な健康施策を実施します

## ポイント

「おおた健康プラン（第三次）」で示した区の健康課題について、東邦大学と連携し、行政情報、区民への質問票調査の分析などをもとに、効果的な健康施策を共同研究します。

## 事業概要

### 共同研究の概要

#### 1 研究期間

令和 2～5 年度まで

#### 2 研究内容

##### (1) 行政情報の分析

人口・世帯構成や各種健診（検診）の結果など、行政データを用い、区内の地区別分析や経年変化を確認

##### (2) 質問票調査の実施、分析

区民を対象に、区が実施する「はねびょん健康ポイント」、  
「キラリ☆健康おおた」(※)の認知度、地域とのつながり  
(ソーシャルキャピタル)や、新型コロナウイルス感染症による  
生活の変化などを調査

##### (3) 解析結果に基づく行政施策への具体的な提言

※「キラリ☆健康おおた」とは、健康づくりのための4つのアクション

(①適度な運動、②適切な食事、③休養、④喫煙・飲酒のリスクの理解と行動)と健康  
診断・がん検診の受診を推奨する取り組みです。

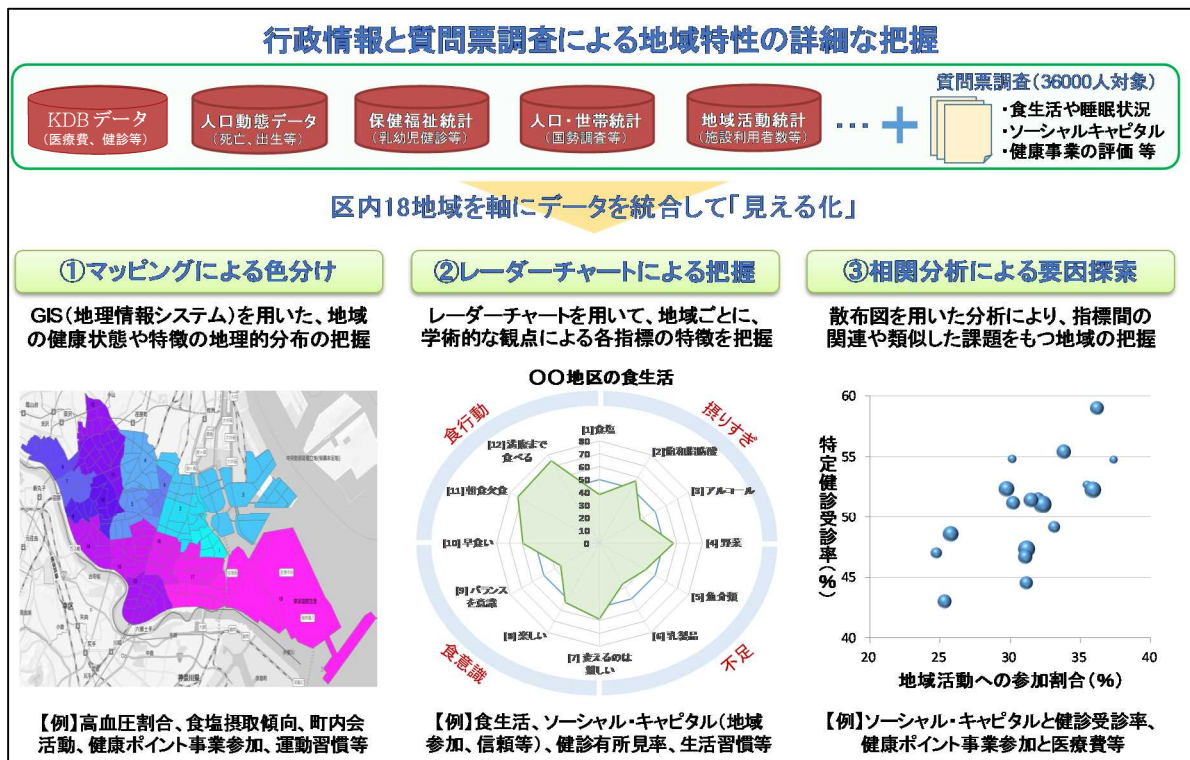


### 3 地域分析の例と分析イメージ

#### (1) 地域分析の例

- ・ 健診（検診）受診率と生活習慣病有病率
- ・ 喫煙状況とがんなど疾病の罹患率、死因別死亡率
- ・ コレステロール摂取状況と心疾患死亡率
- ・ ソーシャルキャピタル（近所づきあい、地域活動）と心身の健康度（ADL＝日常生活動作、抑うつ度） など

#### (2) 分析イメージ



問合せ先	担当部課 健康政策部 健康医療政策課
	課長 佐々木 電話 5744-1261

## はねびょん健康ポイントの充実

重プ

予算額 5,313万4千円

副題：アプリの機能充実により、コロナ禍でも楽しい健康づくりを支援します

### ポイント

アプリ利用者19,000人を突破したはねびょん健康ポイントのアプリ機能を更に充実し、区民の健康づくりを応援します。

### 事業概要

#### 1 健康に役立つ情報配信機能の充実

様々な健康情報を応援メールや動画で配信します。また、配信した内容をわかりやすく分類し、関心のある情報を閲覧しやすくします。



## 2 スタンプスポットの充実

アプリ機能の一番人気であるスタンプスポットの場所を楽しい仕掛けと連動して増やし、区の観光や産業経済の発展、地域振興につなげていきます。

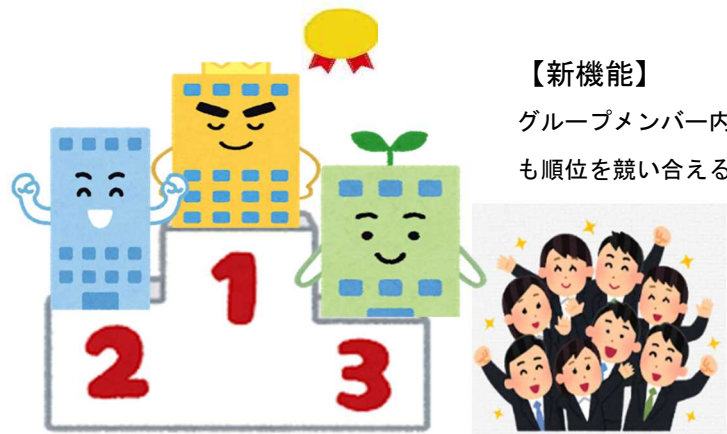
1人でも、仲間とでも  
楽しめる！



## 3 グループ対抗ランキング機能の充実

グループ間だけでなくグループ内のメンバー間でも競い合えるようにします。

グループ対抗ランキング	
2020年9月 最終更新日（2020年9月20日）	
7位	大田区健康づくり課チーム
1位	蒲田ウォーキング回体 10,520歩
2位	大森商店街連合 8,010歩
3位	地域包括グループ 7,011歩
} 全ての参加回体の順位を表示	



### 【新機能】

グループメンバー内でも  
順位を競い合える！

問合せ先

担当部課 健康政策部 健康づくり課  
課長 関 電話 5744-1660

## 健康教育Webコンテンツ配信事業

新規

予算額 6万円

副題：区民がいつでも楽しく健康づくりに取り組めるようサポートします

### ポイント

区民がいつでも楽しく健康づくりに取り組めるよう、健康づくりのポイントをWeb配信します。様々な世代が健康への関心を高め、自宅で気軽に健康の知識が得られるようコンテンツを充実させます。

### 事業概要

#### 1 健康情報のWeb配信

区の公式ホームページ、YouTube、ツイッター、LINE、はねぴよん健康ポイントアプリなどで、健康づくりに関する様々な情報を配信します。

- ・健康メニューの作り方
- ・新生児の沐浴の仕方
- ・災害備蓄品を使ったクッキングなど



#### 2 オンライン講習会の実施

健康に関する専門家などによる講話をYouTubeで配信し、自宅にいな

がら気軽に健康に関する知識を得られる環境をつくれます。



問合せ先

担当部課 健康政策部 健康づくり課

副参事 荒浪 電話 5744-1281 (地域保健担当)

## 電子図書館（電子書籍貸出サービス）事業

新規

重プ

予算額 1,053万9千円

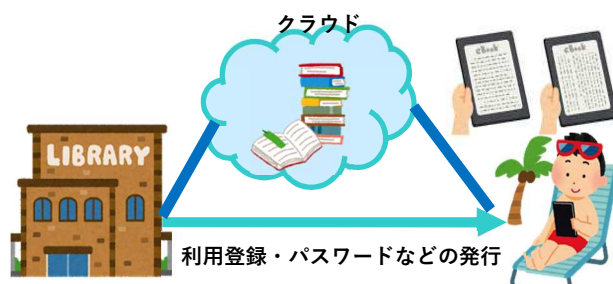
副題：図書館へ行かずに、電子書籍を楽しめるサービスを開始します

### ポイント

新型コロナウイルス感染症を契機とした「新たな日常」への対応を踏まえ、パソコンやスマホなどから閲覧できるサービスを開始します。

### 事業概要

電子書籍貸出サービスは、利用者がクラウド上から一定期間本を無料で閲覧できるサービスです。電子書籍に付帯された音声読み上げ、文字拡大・縮小機能などによって、読書が困難な方々も本を楽しむことができます。



問合せ先	担当部課 教育総務部 大田図書館
	館長 長岡 電話 3758-3471